

# ルビ

[axf:ruby](#)、[axf:ruby-base](#)、[axf:ruby-text](#) によってルビを表現できます。[axf:ruby-base](#) が親文字、[axf:ruby-text](#) がルビ文字です。ひとつの [axf:ruby-base](#) にはひとつの [axf:ruby-text](#) が対応し、これをルビコンテナとして [axf:ruby](#) の中に複数配置して表現します。ルビには、三つの形態があり次のように分類されます。

## モノルビ

個々のルビコンテナが独立で、隣のルビの親文字にルビが掛かりません。

きょう と ふ  
京都府

## グループルビ

ひとつのルビコンテナだけから成り、親文字全体にルビを均等に配置します。

きょうとふ  
京都府

## 熟語ルビ

熟語ルビは、ひとつ以上のルビコンテナから成るルビ構造です。ルビが親文字をはみ出すような場合、隣の親文字へルビを掛けるなどして位置を調整します。

きょうとふ  
京都府

ルビコンテナとルビコンテナの間では行分割が可能です。

鬼門の方角<sup>ぎょう</sup>を凝  
し  
視する。